

ウインドリベアコース												
1年次		2年次										必修科目(1年次)
前期	後期	リベアコース										必修科目(2年次)
		前期					後期					
		工房・リベア 専任	リベア兼任楽器店製造卸	製造卸・音楽器専門店	総合楽器店	一般職	工房・リベア 専任	リベア兼任楽器店製造卸	製造卸・音楽器専門店	総合楽器店	一般職	
リベア基礎ⅠA	リベア基礎ⅠB		リベア応用ⅠA					リベア応用ⅠB				
リベア基礎ⅡA	リベア基礎ⅡB		リベア応用ⅡA					リベア応用ⅡB				MT資格必修科目
リベア基礎ⅢA	リベア基礎ⅢB		リベア応用ⅢA					リベア応用ⅢB				選択科目
			リベア応用ⅣA					リベア応用ⅣB				
			リベアグレード対策Ⅰ				リベア特講	リベア特講				
			リベアグレード対策Ⅱ				打楽器リベア演習	打楽器リベア演習	打楽器リベア演習			
								演習				
								楽器奏法Ⅳ				
楽器奏法Ⅰ	楽器奏法Ⅱ		楽器奏法Ⅲ									
音楽総合特講Ⅰ	音楽総合特講Ⅱ		音楽総合特講Ⅲ	音楽総合特講Ⅲ	音楽総合特講Ⅲ	音楽総合特講Ⅲ						
	管楽器・業界研究Ⅰ		管楽器・業界研究Ⅱ		管楽器・業界研究Ⅱ							
吹奏楽Ⅰ	吹奏楽Ⅱ			吹奏楽Ⅲ	吹奏楽Ⅲ	吹奏楽Ⅲ			吹奏楽Ⅳ	吹奏楽Ⅳ		
アンサンブルⅠ	アンサンブルⅡ				アンサンブルⅢ	アンサンブルⅢ				アンサンブルⅣ		
専攻楽器Ⅰ	専攻楽器Ⅱ			卒業研究Ⅰ					卒業研究Ⅱ			
吹奏楽概論Ⅰ	吹奏楽概論Ⅱ			作譜Ⅰ					作譜Ⅱ			
			楽器店実習									
						吹奏楽概論Ⅲ					吹奏楽概論Ⅳ	
						ヴォーカルⅢ					ヴォーカルⅣ	
						ソルフェージュⅢ					ソルフェージュⅣ	
						和太鼓Ⅰ					和太鼓Ⅱ	
											ポピュラー音楽史	
ウインドアンサンブルコース												
前期					後期							
専門職		楽器店		一般職	専門職		楽器店		一般職			
演奏家（オーケストラ・公務員音楽隊等）	指導者（楽器講師・部活動指導者等）	製造卸・音楽器専門店	総合楽器店		演奏家（オーケストラ・公務員音楽隊等）	指導者（楽器講師・部活動指導者等）	製造卸・音楽器専門店	総合楽器店				
		吹奏楽Ⅲ					吹奏楽Ⅳ					
		アンサンブルⅢ					アンサンブルⅣ					
		卒業研究Ⅰ					卒業研究Ⅱ					
		吹奏楽概論Ⅲ		吹奏楽概論Ⅲ			吹奏楽概論Ⅳ		吹奏楽概論Ⅳ			
		管楽器・業界研究Ⅱ	管楽器・業界研究Ⅱ				ポピュラー音楽史					
作譜Ⅰ	作譜Ⅰ	作譜Ⅰ	作譜Ⅰ	作譜Ⅰ	作譜Ⅱ	作譜Ⅱ	作譜Ⅱ	作譜Ⅱ	作譜Ⅱ			
音楽総合特講Ⅲ	音楽総合特講Ⅲ	音楽総合特講Ⅲ	音楽総合特講Ⅲ	音楽総合特講Ⅲ								
リベア入門Ⅰ	リベア入門Ⅰ	リベア入門Ⅰ	リベア入門Ⅰ	リベア入門Ⅰ	リベア入門Ⅱ	リベア入門Ⅱ	リベア入門Ⅱ	リベア入門Ⅱ	リベア入門Ⅱ			
		ヴォーカルⅢ					ヴォーカルⅣ					
		ソルフェージュⅢ					ソルフェージュⅣ					
		鍵盤楽器Ⅲ					鍵盤楽器Ⅳ					
		音楽療法実習Ⅲ					音楽療法実習Ⅳ					
		スホーラルクリエイションⅡ					スホーラルクリエイションⅢ					
		和太鼓Ⅰ					和太鼓Ⅱ					
		ジャズ演習										
		臨床における即興技法Ⅰ					臨床における即興技法Ⅱ					
		音楽療法・臨床					音楽療法・臨床					
		楽器店実習	楽器店実習				臨床実習（事前・事後指導を含む）					
教養科目：必修科目10単位												

CP	DP
①豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。 ②音楽を通して人間的な成長と専門的な知識と技術を学ぶための基礎教育と専門教育を実施する。 ③地域社会の音楽文化の向上に貢献し、地域で求められる活動学び推進させるために充実した学外演奏や学外ボランティア活動、実習を実施する。 ④各コース担当者は授業時間内外で学生との対話に努め、能力に応じた指導を行い、個々の成長を支援する。 ⑤学生は自ら専攻するコース以外でも選択可能な他コースの授業を受講することができ、広い知識を身につけることができる。 ⑥音楽関係、心理関係の資格取得を支援する教育を実施する。	①音楽の基礎的な理論や曲の生まれた背景を理解し、人に音楽を伝えるための知識を修得することができる。 ②音楽演奏や教育を行うにあたって必要な理論を適切に判断し、相手の理解に応じて伝えることができる。 ③音楽の専門家としての情報収集能力と技術をもち、関係職種と連携できるコミュニケーション能力がある。 ④常に自己資質の向上をめざし、積極的に音楽を通じて人と関わり、地域との連携、音楽文化の向上に向けた社会貢献を推進していくことができる。